

《ご講演者プロフィール》

●小仲 正久 (こなか まさひろ) 氏

演題：「革新こそ新たな伝統を生む」

(現職) 株式会社日本香堂 代表取締役会長

1959年慶応義塾大学法学部卒業、(株)日本香堂入社。65年専務取締役、81年代表取締役社長就任。1992年以降現職。著書に『アドベンチャー精神と価値創造経営』(04年、ダイヤモンド社刊)など。同社の薫香の歴史は古く約440年(天正年間)前にまで遡る。その伝統の日本的価値と新しい時代の顧客価値を調和させ、同社を国際企業まで育てたのが小仲氏である。1996年ドラッカーは講演のなかで「トヨタが潰れても日本香堂は潰れない」とその将来性を賞賛した。翌年、ダニエル・ベルは同社の海外事業展開に対し「香りの日本大使に値する」と評価した。また小仲氏は年間の半分以上を海外で過ごす国際派ビジネスマンでもある。

●近藤 健彦 (こんどう たけひこ) 氏

演題：「同時代に生きた先駆者の軌跡——ジャン・モネとドラッカー」

(現職) 明星大学経済学部教授(財政学担当)

1965年京都大学法学部卒業、大蔵省入省。仏グルノーブル大学で修士号、後年プラザ合意の研究により中央大学法学部で博士号を取得。フランス在住3度7年。プラザ合意時の大蔵省副財務官として竹中登蔵相を補佐。外務省のココム担当課長、大蔵省国際金融局調査課長、ジェットロ理事、横浜税関長、初代の立命館アジア太平洋大学学部長、初代の浜松学院大学学長を歴任。今回の講演では、EU統合の父といわれるジャン・モネとマネジメントの父ドラッカーを取り上げ、この同時代に生きた2人の巨人の歩んだ軌跡を追う。

●平尾 勇司 (ひらお ゆうじ) 氏

演題：「自ら機会を創り出し、機会によって自らを変える——『ホットペッパー』事業立ち上げ経験から」

(現職) 経営コンサルタント

1980年香川大学経済学部卒業。同年(株)リクルート入社、関西広告事業部新大阪営業課長、広告事業部門神奈川営業部次長、人材総合サービス事業部門港営業部部長、ケイコとマナブ首都圏営業部長、中四国支社長を歴任。2001年4月ホットペッパー事業部長に就任し、同誌を4年で全国49版展開、売上約300億円、営業利益110億円の事業に育てる。2003年狭域ビジネスディビジョンカンパニー執行役員に就任、2006年3月退任。現在は経営コンサルタントとして、講演、研修、執筆活動を行う。専門分野は新規事業開発、事業成功モデルの開発と運用、事業・組織マネジメントなど。